

京大広報

No. 124

京都大学広報委員会

同和問題文献・資料コーナーの設置について

このたび、本学附属図書館、教養部図書館、医学図書館および農学部図書室に同和問題文献・資料コーナーが設置された。

これらのコーナーの設置は、本学の教職員、学生が部落解放に必要な調査研究や学習を積極的に行っていくためには、それに役立つ文献・資料類の収集・整備が必要であるとの総長の判断により、部局長会議の議を経て決定されたものである。

なおこの設置に関しては、本学同和問題委員会からもその設置の促進方について意見具申がなされてきたもので、さる昭和50年1月20日の総長あて中間報告でも同和問題の調査および資料の整備に関して述べられ、その内容は京大広報No. 107に掲載のとおりである。

これらのコーナーに配置された文献・資料は、総長の委託により、同和問題委員会において選書小委員会の原案に基づいて選定され、本学附属図書館が購入・整理したものである。

コーナーの設置場所は、現在のところ前記4か所に限られているが、本学のすべての教職員・学生の利用に供されるものである。なお、備え付け図書のリストは各コーナーおよび各部局図書室に備えられるよう準備が進められ、近く配布される見込みである。

昭和51年度創立記念日行事音楽会の開催について

本学では、毎年、創立記念日（6月18日）を祝し音楽会を開催していますが、本年度はギター

スの庄村清志氏を招き、下記のとおり開催します。本学教職員、学生の来聴を歓迎します。

演奏者 庄村清志
(略歴)

1947年岐阜県生まれ。13才で小原安正氏に師事。1964年～1968年スペインに滞在しマドリッドで世界的巨匠ナルシーソ・イエパス氏から教えをうける。1967年イタリア青少年音楽愛好協会の招きによりイタリア各地で演奏会を開く。1969年帰国後日本各地で演奏会を開き第一人者という評価をうける。1970年東京フィルハーモニー交響楽団と協演。1971年イタリアで行われた第25回世界青少年音楽協会国際フェスティバルに日本代表として参加。1972年イタリア、ハンガリー、チェコスロバキアにて約30回の演奏会を開く。1973年若杉弘指揮の新日本フィルハーモニー交響楽団と協演。1974年バッハのリキュート組曲1番等のプログラムで東京にてリサイタルを開く。その後日本各地で演奏会を開き現在に至る。

演奏曲目

J・S・バッハ＝リキュート組曲 No. 3
No. 4

タルレガ＝アルハンブラの想い出

武満 徹＝フォリオス No. 1

バリオス＝郷愁のショーロ

アルベニス＝グラナダ

アストゥリアス

ビラ・ロボス＝エチュード No. 8

No. 12

日時

昭和51年6月8日（火）午後6時開演

場 所

京都府立勤労会館

京都市中京区烏丸通丸太町下ル

(市バス 烏丸丸太町下車)

入場料 無料

備考

1) 職員証もしくは学生証を持参して下さい。

2) 定員1,300名, 先着順とします。

(学生部)